

## 概要

研究分野として掲げている技術論、イノベーションマネジメント、プロトタイピングに関する研究、およびそこで得られた知見を活かした活動を学内外で行った。学内では、岐阜県内の企業などにおけるイノベーション活動を支援する事業「岐阜イノベーション工房」のほか、研究委員会委員長（2025年3月まで）、図書館長（2025年4月より）をつとめた。学外では、文化庁委託事業「Art for Well-being」の全体監修、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 非常勤講師などをつとめた。

## 学内の活動

### 論文・発表

哲学者・ベルクソン研究者の平井靖史氏（慶應義塾大学）との共著論文が、スペインのUniversitat Oberta de Catalunyaが編集を担当する芸術・科学・テクノロジーの交差を多角的に分析する学術雑誌 *Artnodes* に掲載された。

Yasushi Hirai and Shigeru Kobayashi, "Transforming Memory Landscapes: An Expanded Bergsonian Approach to Temporal Structure in Media Art Experiences," *Artnodes*, no. 36 (June 2025): 1–11, <https://doi.org/10.7238/artnodes.v0i36.431873>.

また、韓国で開催されたメディアアートに関する国際学術会議「ISEA2025 (30th International Symposium on Electronic/Emerging Art)」、人工知能に関する学術会議「2025年度 人工知能学会全国大会 (第39回)」、オランダで開催された技術哲学に関する国際学術会議「SPT 2025 (The 24th Biennial International Conference of the Society for Philosophy and Technology)」、記号学・記号論に関する学術会議「日本記号学会第45回大会」などにおいて研究成果を発表した。

このほか、2022年頃から取り組んでいた技術論に関する研究成果をまとめた書籍『テクノロジーって何だろう?——〈未完了相〉で出会い直すための手引き』が2025年9月に刊行されている。



## 岐阜イノベーション工房

岐阜イノベーション工房は、岐阜県内の企業などにおけるイノベーション活動を支援する事業。参加者が、イノベーション創出に有効であるとされる手法を主催者から学び、参加者の所属組織などにおいて実践し、実践からの学びを共有することを通じて、イノベーション活動に積極的に取り組む風土を岐阜県内に醸成することを目的として2018年度より開催しており、2022年度までの5年間で企業26社23チームが参加している。それらのうち、本事業への参加をきっかけとして2社がプロダクト（製品・サービス）イノベーションを実現できたのにくわえて、1社がプロセスイノベーションを実現できたことが確認できている。2023年度と2024年度をこれまでの参加者を対象にしたフォローアップおよびリニューアルのための準備期間と位置付けて活動した。今年度は、この間に行った準備を基に短期集中型演習プログラムと伴走型実習プログラムを実施、4社4チームが取り組んでおり、2026年3月に成果報告会の開催を予定している。

岐阜イノベーション工房ウェブサイト

<https://sites.google.com/iamas.ac.jp/gifu-innovation-workshop/>

## 学外の活動

### Art for Well-being

文化庁委託事業「Art for Well-being」は、アートとケアの観点からテクノロジーをとらえなおし、アートとケアとテクノロジーの可能性をひろげることを目的としたプロジェクトで、奈良県奈良市の一般財団法人たんぽぽの家が主宰。病気や事故、加齢、障害の重度化など、心身がどのような状態に変化しても、テクノロジーとともに、表現活動を継続できるようにすることをめざしている。準備段階から参加し、採択された2022年4月から「全体監修」を担当、ケアの現場を理解しつつ先端的なテクノロジーの可能性を探求するエンジニアなどをコーディネートする、複雑に絡み合った状況で進行するサブプロジェクトおよびプロジェクト全体の進行について事務局にアドバイスする、といった役割を担当している。



2025年3月刊行の冊子『表現とケアとテクノロジーのこれから——Art for Well-being の試みを通して』

### 慶應義塾大学 非常勤講師

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科において、「サービスデザイン特論」を担当し、サービスデザインをテーマにイノベーションマネジメントを中心とする知見を提供した。